

2016年12月7日

～「旅に出たくなる、思わず手にとる」パンフレット～

第4回 ふるさとパンフレット大賞 決定！

大賞 上天草市！九州勢健闘、6団体が受賞。又吉直樹氏、オムライスも登場！

主催：一般財団法人地域活性化センター 後援：時事通信社、共同通信社

協力：立教大学観光学部志賀ゼミ、早稲田大学社会学部早田ゼミ、群馬県富岡市地域おこし協力隊

地域活性化センターでは、東京都中央区・日本橋プラザビル1階に「ふるさと情報コーナー」を設置し、都道府県・市町村の観光・イベント等のパンフレット約2,600種類を展示し、来訪者の皆様にご自由にお持ち帰りいただいています。同コーナーは、年間、約32万部のパンフレットを提供し、提供部数の多い人気パンフレットランキングを毎年発表していますが、ランキングの上位は有名観光地に集中しがちです。そこで、当センターでは、平成25年度から「ふるさとパンフレット大賞～旅に出たくなる、思わず手にとる～」を設け、優れたセンスで地域情報を発信しているパンフレットを表彰しており、この度、第4回の各賞が決定しましたのでご報告させていただきます。

記

1. 名称 「第4回ふるさとパンフレット大賞 ～旅に出たくなる、思わず手にとる～」
2. 目的 地域の魅力的なパンフレットの創造により、旅に出いただくことで地域の活性化を目指しています。
3. 各賞受賞パンフレット
 ○ふるさとパンフレット大賞
熊本県上天草市 「上天草市みしらんガイドブック」



- 優秀賞
福岡県福岡市 「福岡 よる旅」
- 優秀賞
福岡県大任町 「“ヤバイ” ぜ! おおとう町」
- 南伸坊賞
熊本県熊本市 「SOSEKI, SO COOL.」
- 楓千里賞
宮崎県椎葉村 「ONLY ONE Sh i i b a」
- パッケン賞
熊本県阿蘇市 「阿蘇の四季」
- マッケン賞
石川県宝達志水町 「宝達志水オムライス」
- 地域活性化センター賞
群馬県前橋市 「Kur un」
- 敢闘賞
東京都狛江市 「私たちがつくる水と緑のまち K o m a e」

4. 選考委員

- 委員長 南 伸坊 氏 (イラストレーター)
- 委員 楓 千里 氏 (株)JTBパブリッシング 取締役)
- パッケン 氏 (お笑いコンビ パッケンマッケン)
- マッケン 氏 (お笑いコンビ パッケンマッケン)
- 岩崎 正敏 (地域活性化センター常務理事)

※なお、事前審査には早稲田大学生、立教大学生、群馬県富岡市地域おこし協力隊の5名の方が行いました。

5. ふるさとパンフレット大賞 審査委員からのコメント

○南 伸坊 委員長

【総括】

「ふるさとパンフレット大賞」も四年目を迎えました。ますます意欲作があらわれてきて、審査をしていて楽しいです。

「今年はこの傾向が受賞したか、じゃあうちも」と「受賞作」に影響を受けるのはいい事だと思います。ですが企画にしてもデザインにしても、新しいことをしなければ、むしろ不利でしょう。前年度受賞したものと同工異曲の企画やデザインは、仕上がりのクオリティーが高くても、その分差し引かれて採点されます。

影響を受けて有利なのは「傾向」よりも「意欲」だと思います。参考になるのは、同じジャンルより、**むしろまるで無関係に見えるジャンルからの「移植」にあるでしょう。**パンフレットに望まれているものを、すべて盛り込もうとするのは、大概失敗の元です。むしろどれだけ切り捨てられるか？その決断が勝負だと私は思っています。自分が、縁もゆかりもない、つれない他人として、どう見るかって発想が決め手です。

私が個人賞に選んだのは、この捨てられるものを、どれだけ捨てられたかという、そこを評価したものでした。選考委員のみなさんからは、あまり賛同は得られなかったんですけどね (笑)

○楓 千里 委員

大賞に選ばれた「上天草 みしらん ガイドブック」は、手に取った瞬間に元気が伝わるパワフルなパンフレットです。基本カラーの温かみのあるオレンジ色を、全面または頁の縁に配し、ギュッと凝縮された地域情報が詰まっている演出に成功しています。擬音や吹き出し、イラストが上手に配され、「みしらん」ネタにグイグイ引き込まれます。制作メンバーが楽しみながら編集している様子が目に浮かびました。

個人賞に選ばせて頂いた「ONLY ONE Sh i i b a」は**パンフレットの域を超えている一冊の書籍**と考えても良い完成度です。延岡市在住のアートディレクター・小野信介さんが、村の方達とおしゃべりをし、写真を撮り、時には車から溢れんばかりのお土産物ももらいながら、半年間椎葉村に通った記録でもあります。小野さんは、村の若者が、あらゆる場面で生き生きと椎葉を楽しみ、羨ましいほどに魅力的だったと語り、一枚一枚の写真から丁寧な暮らしが伝わってきます。暮らしに寄り添った旅をしてみたいと思わせてくれる一冊です。

○パクション 委員

この賞の審査はこれで4回目。何よりも、今回は「日本のパンフレットが著しく成長している」と強く感じた。今は、美しい写真や面白い言葉遣いが揃っていてもそれだけでは賞の候補にはならなくなっている。そのクオリティーの高さの上に、個性、アイデア、遊び心、斬新さなどが加わってやっと“決勝”に残る時代だ。英語も加えて世界の皆さんをターゲットにしている自治体も増えて、パンフレットのグローバル化も目立っている。そんな大変な競争社会から本当にすごい作品が抜きん出て見事に賞を取っている。

でも実は、僕は普通のパンフも大好き。個性豊かで面白いものも素敵だが、地方の風景やローカルな情報とともに、地元の皆さんの顔が見られて、地図と一緒に空想を広げられるような一般的なものもたまらない！数日かけて足を運ぶのが理想かもしれないけど、数分だけでもパンフレットを通してその地方と付き合うのもいい旅になる。

○マックン 委員

パンフレットと言っても「シンプルに絵や写真で見せるもの」「言葉や文章で印象付けるもの」「バラエティー・アイデア・企画もの」「情報量豊かなもの」などそれぞれアプローチの仕方が独特で、一番を決めるのが本当に難しくなってきました。そんな中「上天草みしらんガイドブック」は、目に飛び込んでくる表紙のインパクト。頭の中に残るキャッチコピー。会いたい、食べたい、見てみたい、という行ってみたくなる要素が満載の内容だと思います。そして、「宝達志水オムライス」のパンフレットはオムライスの上の半熟オムレツをナイフで開いた時のような両開きのデザイン。そしてそれを広げると中からたくさんのオムライス！率直に「この町に行ってオムライスが食べてみたい」と思い、マックン賞とさせて頂きました。今年もたくさんの素晴らしいパンフレットに出会うことができました。ありがとうございますm(_ _)m

○地域活性化センター常務理事 岩崎 正敏

地域活性化センター賞の「kurun」は、体系的・網羅的な作りではなく、上品に食べるのが難しそうな焼きまんじゅうやどう使うのか見当もつかない多機能バックパックなど、こんなものもあるぜ感を強調した点が印象的。

敢闘賞の「私たちがつくる水と緑のまち Komae」は、東京都心部へのベッドタウンのイメージが強いが、生活者のための街でもあることを訥々と語っている。



左から 岩崎常務理事、楓千里氏、南伸坊氏、マックン氏、パクション氏

6. 詳細情報は、地域活性化センターHP「ふるさと情報コーナー」ページに掲載

<http://www.jcrd.jp/>

【お問い合わせ先】一般財団法人 地域活性化センター 広報室 岩崎、畠田

電話03-5202-6137

第4回 ふるさとパンフレット大賞 受賞パンフレット

【大賞】熊本県上天草市



【優秀賞】福岡県福岡市



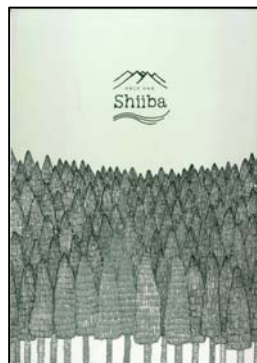
【優秀賞】福岡県大任町



【南伸坊賞】熊本県熊本市



【楓千里賞】宮崎県椎葉村



【パッケン賞】熊本県阿蘇市



【マックン賞】石川県宝達志水町



【地域活性化センター賞】群馬県前橋市



【敢闘賞】東京都狛江市

